



ほっぷ通信



令和8年 NO. 10
管理者 米倉芙美子

新春のお慶びを申し上げます。新しい一年がお子様にとって、また保護者の皆様にとって笑顔あふれる年になりますよう、本年も保護者の方々と子どもたちの成長の喜びを分かち合いながら心温まる一年を過ごしていきたいと思っておりますのでどうぞよろしくお願い致します。

新年早々、インフルエンザやコロナの感染者が流行しており、まだまだ予断を許さない状況となっております。各ご家庭におかれましても引き続き感染症予防の徹底と、万が一罹患した場合にはご連絡いただけますようご協力お願い致します。



1月の予定

1月 12日(月) 書初め・カルタ大会
1月 24日(土) 初詣に行こう
1月 31日(土) 町内ウォーキング

※以降のイベントは後日、日程決まり次第ご連絡致します。

●佐々木作業療法士 相談、来所日	●白土公認心理師 各種検査、来所日
1月 17日(土)、1月 31日(土)	1月 31日(土)

リハビリや機能訓練等、検査相談についてお気軽にご相談下さい。

●嘱託医師訪問予定 1月 22日(木)



餅つきの由来とねらい



餅つきの由来…稲は昔から神聖なものだと考えられており、崇められていました。その稲からとれるお米は生命力を強めると言われており米をついて固めたお餅はその力が特に強いと考えられてきました。そのため祝い事や特別な日には餅つきをするようになり、日本の行事文化の中で重要視されているお正月に餅つきをする事が定着してきたそうです。

今年も一年、強く健康に過ごせるように子どもたちの成長を祈って、ほっぷでも餅つきを実施しました！

主なねらい（目的）

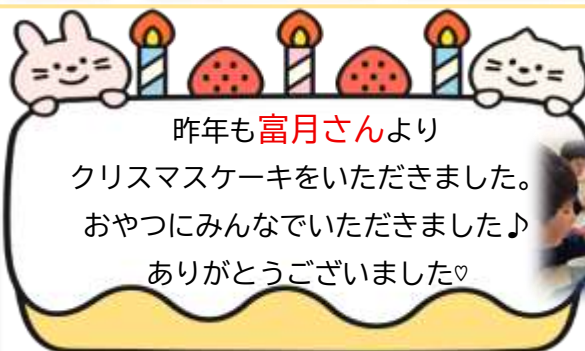
- ・ 伝統文化の体験…杵と臼に触れ、お正月に関連する日本の文化や風習を肌で感じ、興味を持つ。
- ・ 協調性を学ぶ…お友達と息を合わせたり、交代で作業することで協力する楽しさや一体感を味わう。
- ・ 五感を養う…つきたての餅柔らかさ、杵や臼の感覚、音など餅つきの感触などを通して五感を養う。
- ・ 食育…お米が餅になる過程や、みんなで協力したお餅を味わうことで食べ物への感謝の気持ちを育む。
- ・ 季節感、野外活動の促進…季節感を感じ、戸外活動のきっかけを作る。

サンクチュアリーセンター



12月の壁画

きらきらシールで
デコレーション！
カラー粘土で上手
に縁取りしておし
ゃれなツリーが完
成しました♪



昨年も富月さんより
クリスマスケーキをいただきました。
おやつにみんなでいただきました♪
ありがとうございました♡



特定非営利活動法人セミナーレ
住所；気仙沼市本吉町登米沢 24 番地 1
TEL:0226-25-7710 FAX：0226-25-7764
Mail：seminare@iaa.itkeeper.ne.jp
HP：seminare-kesennuma.or.jp